

平成30年度 授業改善推進プラン 学年メモ

音楽

	児童の実態	学習指導の課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	具体目標	3月 成果と課題
一年	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく友達と声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて歌ったりしているが、2割程度の児童が拍に合っていない。また、ゆったりした音楽の際に拍が合わない。 ○楽しく教師の模倣をしたり階名模唱したりしている。簡単な鍵盤ハーモニカの模倣を楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて身体表現したりする活動時間を十分に取り入れる必要がある。 ○鍵盤ハーモニカの指運びの指導を十分にすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○曲に合わせ、主體的に体を動かしたり、リズム打ちをししたりする活動を繰り返す。 ○個別に、短い旋律で鍵盤ハーモニカの旋律模倣をする。 ○課題曲が演奏できるようになった児童に選択曲を用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○拍の取りやすい曲を選び、歌う楽しさを実感させる。手や足を使ったリズム打ちから始め、徐々に体の動きに慣れさせるようにする。 ○運指表のついた掲示物や楽譜を用意し、個別の指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒に、楽しく歌ったり、演奏したりして表現する。 ○運指を正確に、息の量を調節して鍵盤ハーモニカを演奏することができる。 	
二年	<ul style="list-style-type: none"> ○拍にのって、楽しく歌唱をしたり、体を動かして曲の気分を感じ取ったりしている。1割程度が拍に合っていない。 ○簡単な曲を拍にのって鍵盤ハーモニカで演奏している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リズムをはっきりさせたり、一定の速度を保つために、日ごろの基礎・基本を定着させる時間を確保する必要がある。 ○鍵盤ハーモニカの演奏で、タンギングや運指の指導を十分にすることがある。息の量を調節して演奏するために十分に時間をかける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な音楽活動を組み合わせ、幅広い表現方法を取り入れる。また、表現を工夫するようにする。 ○一人一人聴き合ったり、演奏したりすることで、意識づける。タンギングを使い、息の使い方に気を付けて、よい音色で演奏するようにする。 ○短い旋律を主體的に、繰り返し演奏する授業を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○拍の流れが分かりやすい選曲と、拍に合わせて体を動かして表現をする活動を取り入れる。体や楽器をつかったリズム模倣、リズム問答を繰り返す。 ○簡単な旋律の模倣や問答を繰り返す。運指に慣れさせ、自分の音色が模範の演奏の音色に近づくよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒に、楽しく歌ったり、演奏したりして表現する。 ○鍵盤ハーモニカで簡単な旋律の模倣や問答ができ、拍にのって簡単な曲を演奏する。 	
三年	<ul style="list-style-type: none"> ○9割の児童は自然で無理のない声で歌っている。1割の児童は指導が必要である。 ○8割の児童は思いや意図をもって表現しようとしている。思いに合った表現ができない児童がある。 ○9割の児童がリコーダーの音色に気を付けて演奏しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然で無理のない声で歌う指導を十分に行う必要がある。 ○思いや意図をもって表現を工夫する指導を十分にすることがある。 ○リコーダーの音色に気を付けて演奏するために十分に時間をかける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想にふさわしい表現を様々な表現方法で工夫するとともに、一人一人響きのある声で歌えるようにする。 ○一人ずつ聴き合ったり、友達同士で聴き合ったり教え合ったりするなどの学習をし、タンギングや運指を意識づけると共に、より確実に定着させるとともに、簡単な二重奏で演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○声による旋律の模倣やリレーをして、友達と自分の歌声を聴き比べる場面を増やす。 ○幅広い表現方法を体験するようにして、様々な表現方法を知らせる。 ○聴き比べをし、気付くようにする。旋律模倣を繰り返し個別指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然で無理のない声で、曲想にふさわしい表現で歌う。 ○音色に気を付けてリコーダーを演奏する。 ○様々な表現方法で工夫して表現したり、よさを感じ取りながら聴いたりする。 	
四年	<ul style="list-style-type: none"> ○9割の児童は思いや意図をもって表現を工夫しようとしているが思いに合った表現ができていることがある。 ○9割の児童は音を聴きながら、合わせて演奏しようとしている。 ○時間をかければ読譜がほぼできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いや意図をもって表現を工夫する際に、自分の歌声と友達の歌声を調和するために丁寧に指導をする必要がある。 ○友達の音を聴きながら、合わせて演奏するための手立てが必要である。 ○読譜のための支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループなどの少人数で、自分たちで聴き合ったり歌い合ったりし声を重ねて響かせ合う活動をする。 ○一人一人順番に部分的に演奏することで意識づける。 ○音色に気を付けて演奏し調和のとれた表現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○短いカノンや短いフレーズを重ねる活動を繰り返し、聴き合って歌う機会を増やす。 ○一部分を取り上げて、速度を落として練習をしたり、パートごとに演奏したりそれを組み合わせて演奏したりして活動を工夫する。 ○読譜カードを用いた活動を繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然で無理のない声で、楽しんで合唱などの声を重ね合う活動をする。 ○互いの音を聴き合いながら、簡単なアンサンブルの演奏をする。 ○工夫して表現したり、楽曲の特徴やよさを感じ取って聴いたりする。 	
五年	<ul style="list-style-type: none"> ○思いや意図をもって表現を工夫しようとしている。音楽を形づくっている要素を働かせて表現しようとしているが思いに合った表現ができている場合もある。 ○楽器の特徴にあった演奏の仕方を工夫しようとするが経験が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いや意図をもって表現を工夫する際に、思いどおりに音楽を形づくっている要素を働かせるための指導が必要である。 ○思いや意図をもって、曲想にふさわしい表現を工夫する際、楽器の特徴にあった演奏の仕方を工夫するような支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数、あるいは二人で短い旋律を声を重ねて歌ったり聴き合ったりする活動をする。 ○二人一人順番に部分的に演奏することで意識づける。 ○曲想に合った表現や、楽器の特徴にあった演奏の仕方を工夫し、各声部の音や全体の響きと調和させながら演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでの試行錯誤をする場を設定するとともに、短いフレーズで自分の表現と友達の表現を聴き比べて自分の表現に生かす活動を繰り返す。 ○短いフレーズを繰り返し表現し、定着するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○響きのある声で、声を合わせて歌う。 ○楽器の特徴を生かして、各声部の楽器の音色を聴きながら演奏する。 ○工夫して音楽表現したり、音楽を味わって聴いたりする。 	
六年	<ul style="list-style-type: none"> ○思いや意図をもって表現を工夫しようとしているが思いに合った表現までに至らないことがある。音楽を形づくっている要素を働かせて表現しようとしている。 ○楽器の特徴にあった演奏の仕方を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いや意図をもって表現を工夫する際に、思いどおりに音楽を形づくっている要素を働かせるための指導が必要である。 ○思いや意図をもって、曲想にふさわしい表現を工夫するための十分な指導が必要である。楽器の特徴にあった演奏の仕方の指導を丁寧に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体の使い方にも意識を向け、思いや意図をもち、よりよい表現を工夫する。ペアやグループで思いに合った表現ができているか聴き合ったり歌い合ったりする。 ○部分を取り上げて演奏し意識づける。 ○鑑賞の学習、発表の機会を通して、曲の構成を考えながら、どう演奏するかについて思いや意図をもち、よりよい表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでの試行錯誤をする場を設定するとともに、短いフレーズで自分の表現と友達の表現を聴き比べて自分の表現に生かす活動を繰り返す。 ○短いフレーズを繰り返し表現し、定着するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美しく響きのある声で、思いや意図をもって表情豊かに歌う。 ○楽器の特徴を生かして、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって合奏する。 ○工夫して音楽表現したり、音楽を味わって聴いたりする。 	